



# 気仙保健医療圏 大船渡保健所

グループG

◎百武宏志、○米盛輝武、佐藤祐司、久田瑛吉、  
前田篤志、三浦弘幸、菊田智子

# 移動

## 岩手医大～大船渡保健所

- ▶ グループHと共に、計4台の車両で移動を行った
- ▶ 移動の途中、道路状況やガソリン給油可能場所、衛星電話の電波状況等の確認を行いEMIS掲示板に投稿した
- ▶ 大船渡保健所までの道のりは、街灯は少なく、トンネルが多く、山道が続き、イリジウムでの通信ができない区間があった。ラジオの入る場所が少なく情報収集が難しかった
- ▶ 4台での移動では、トランシーバーでやり取りを行い距離があいた際は、集合ポイントを設定して連携を図った。



# 活動内容①

大船渡保健所から、医療救護班に対しては以下の要請があった。

- ①岩手県立大船渡病院の現状の確認、連絡体制の確立
- ②近隣の開業医や避難所の把握ができていないが、どのようにすればいいか



2チームで役割分担を行い、グループGは保健所内で本部を立ち上げ、グループHは大船渡病院で活動を行うことになった。



# 活動内容②保健所



クロナロ(ホワイトボード・電子化)、To Doリスト、コンタクトリストの作成



通信の確立(衛星電話、ネット環境の整備)



活動環境の整備(休息場所、ラップポンの設置、食事準備...)



EMIS(医療ニーズ調査、アセスメントシートの登録)



情報の整理、ニーズの吸い上げ

地域医療コーディネーターとの調整

# 活動内容 [保健所]

## 地域ミーティングの実施

保健所  
救護班

保健所

消防

警察

大船渡病院  
救護班

情報共有

活動資源の把握

多機関連携の構築

戦略方針の統一

# 問題点 [活動面]

## CSCAの確立ができずに活動を始めてしまった...

### C [Command & Control]

- ・ 保健所所長の連絡先を聞かなかった
- ・ 岩手県の医療救護活動マニュアルの確認を行わず、自分たちのルールで活動を行ってしまった
- ・ チーム内の役割分担がはっきりせずにスタートしてしまった
- ・ 休憩のローテーションを考えずに、全員が休憩がなかった(喫煙者は除く)
- ・ 指揮命令系統が乱れてしまい、大船渡病院に迷惑をかけてしまった

### S[Safety]

- ・ 建物の安全、避難経路の確認を行わなかった

### C [Communication]

- ・ コンタクトリストは作成したが、消防・警察の連絡先を確認するのが遅くなった
- ・ 電話の際の受け手側の復唱ができず、チーム内での情報の共有に時間が掛かった
- ・ 定時連絡の調整ができず、大船渡病院と連絡の取れない時間があった

### A [Assessment]

ToDoリストを作成したものの、活動方針や優先順位の決定ができなかった

# 問題点 [環境面]

## ▶ 活動環境

- ・ ライティングシートがなくなってしまった
- ・ 荷物の積み込み時に中身まできちんと確認が必要であった。  
→なくなった際に、物品補充の依頼をかけなかった。

## ▶ 生活環境

- ・ 暑い！湿度と体感温度が高い！
- ・ 空調が節電の為に17時に止まってしまった。
- ・ 窓を開けると、大量の虫が襲来！

# まとめ

今回の実践訓練では、

- ▶ CSCAの確立
- ▶ 自分たちの基盤（役割分担やお互いの連携の体制）を整えること
- ▶ 全員での情報共有（振り返り時間）

がとても重要であること、それを作り上げる大変さを身をもって学ぶことができた。

4日間

ありがとうございました！

